

事業所名 : こもれび

公表 : 令和 5年 3月

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切なスペースで運営し、密にならないように配慮しております。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			基準より多く人員を配置しております。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			学習と活動のスペースをパーテーションで分けて、集中しやすいように設定しております。玄関の段差がある以外は室内はバリアフリーとなっております。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			朝夕のミーティング以外にも、都度子供たちの状態に合わせて話し合っています。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートによる基調なご意見を踏まえ、改善につなげております。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPにて公開しております	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			支援センターの方に支援内容を評価・助言頂きながら業務に活かしております。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			支援センター、児童相談所による研修の他、玩具店の方による遊びを通してお子さんの力を引き出す支援の方法等、多岐に渡る研修の機会を確保しております。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者と定期的な面談を行い、ニーズと特性を踏まえ、作成しております。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを利用しております。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			立案・作成を複数の職員で行っております。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節の行事や、戸外活動の他、畑での農作業、施設見学、音楽会の参加等も行ってまいります。毎日の活動に統合活動も取り入れ、体幹や感覚の強化に工夫しております。	

⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			ご家庭のニーズを踏まえ、宿題や個別課題等を設定しております。	
---	-------------------------------------	---	--	--	--------------------------------	--

適切な支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			障がいや特性に応じ、作成しております。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		毎朝、送迎前に留意事項や活動内容の説明等を行っております。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			記録表の記入とともに、その日の振り返りを行って参ります。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録表の記入とともに、その日の振り返りを行っております。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年毎に、アセスメント、モニタリングを行い、計画を更新しております。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			複数の基本活動を組み合わせ、行っております。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者、児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			利用開始前に送迎に関する確認を行っております。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			現在、医療ケアが必要な児童の通所がない為。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			入学前に担当者会議等を行い、情報共有に努めました。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			学校卒業をする対象の児童がない為。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			専門機関の助言や研修を受けております。	今後は研修の機会を増やしていきたいと思っております。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	感染症の流行により、行えておりません。	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			オンラインでの会議に参加いたしました。	
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートの活用や、送迎時に情報交換を心がけております。		

	⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		ご家庭との療育内容の共通認識に取り組んでいます。	研修も実施予定です。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時にご説明させて頂いております。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		送迎時、連絡ノート、面談等で相談に応じております。	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		教育委員会の方をお呼びして、支援学級・支援学校の様子や内容についての保護者向けの講習会を開催致しました。	
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		重要事項説明書に苦情の受付について記載しております。	
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月予定表を発行し、HPのブログにて活動報告を行っております。	
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○		ご契約時に同意書にご記入をお願いしております。また指導員にも取り扱いについて指導しております。	
	㉖	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		絵カードを用意し、必要に応じて利用致します。	
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今後、検討して参ります。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各マニュアルを策定しており、避難場所、経路について保護者へお知らせしております。避難訓練も定期的を実施しております。	
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		利用児童の特性に配慮しながら、避難・防災訓練を行っております。	
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		児童相談所から講師を招き、研修を行いました。	今後も外部研修の機会を設けたいと思います。
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		虐待防止委員会の指針を策定し保護者へ配布と共に、緊急性・切迫性・非代替性についての説明も行ってあります。	
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時に確認しております。	
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例を作成し、全職員で共有しております。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 5年 3月

事業所名: こもれび

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切なスペースで運営し、密にならないように分けて活動しています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			基準より多く職員を配置しております。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			学習と活動のスペースをパーテーションで分けて、集中しやすいように設定しております。玄関の段差がある以外は室内はバリアフリーとなっております。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			こまめな清掃、消毒を心掛けております。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			朝夕のミーティング以外にも、都度子供たちの状態に合わせて話し合っています。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートによる貴重なご意見を踏まえ、改善につなげております。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPで公開しております。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		支援センターの方に支援内容を評価・助言頂きながら業務に活かしております。	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			支援センター、児童相談所による研修の他、玩具店の方による遊びを通してお子さんの力を引き出す支援の方法等、多岐に渡る研修の機会を確保しております。	
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			ご契約時にアセスメントを行い、支援計画の更新の際にも定期的に行っていきたく思います。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを利用しております。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			具体的な支援を作成しております。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			計画に沿って支援を行っております。	

適切な支援の提供	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			立案・作成を複数の職員で行っております。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節の行事や、戸外活動の他、畑での農作業、施設見学、音楽会の参加等も行ってまいります。毎日の活動に統合活動も取り入れ、体幹や感覚の強化に工夫をしております。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			障がいや特性に応じ、作成しております。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、送迎前に留意事項や活動内容の説明等を行っております。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			記録表の記入とともに、その日の振り返りを行っております。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々記録を取ることを徹底し、検証・改善に努めております。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年毎に、アセスメント、モニタリングを行い、計画の更新を行っております。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者、児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			区の保健センター、児童相談所等、利用施設と連携を取り、情報共有を行っております。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			現在、医療ケアが必要な児童の通所がない為。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			現在、医療ケアが必要な児童の通所がない為。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			今年度、該当の児童がいない為。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			来所・見学頂き、支援会議を行いました。	
	㉗	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			助言を受けております。	今後は研修の機会を増やしていきたいと思っております。
保護者への説明責任等	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		今年度はコロナ禍の関係で、参加できなかった為。	感染症が落ち着き次第、子育てサロンや幼稚園の行事に参加させて頂きたいと思っております。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			オンラインでの部会に参加させて頂きました。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートの活用や、送迎時に情報交換を心掛けています。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		ご家庭との療育内容の共通認識に取り組んでいます。	ご家族が参加できる研修を検討しております。

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時にご説明させて頂いております。	
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		ご説明を行い、同意を得ております。	
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		送迎時、連絡ノート、面談等で相談に応じております。	
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		教育委員会の方をお呼びして、支援学級・支援学校の様子や内容についての保護者向けの講習会を開催致しました。	
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		重要事項説明書に苦情の受付について記載しております。電話での相談にも対応しております。	
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月予定表を発行し、HPのブログにて活動報告を行っております。	
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		契約時に同意書のご記入をお願いしております。また指導員にも取り扱いについて指導しております。	
	㉗	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		必要に応じ、絵カードで伝達しております。	
非常時等の対応	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今後検討して参ります。
	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルを策定しており、避難場所、経路について保護者へお知らせしております。避難訓練も定期的を実施して参ります。	
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		利用児童の特性に配慮しながら、避難・防災訓練を行って参ります。	
	㉛	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に確認しております。	
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○		契約時に確認しております。	
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例を作成し、全職員で共有しております。	
	㉞	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		児童相談所から講師を招き、研修を行いました。	今後も外部研修の機会を設けたいと思います。
	㉟	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		虐待防止委員会の指針を策定し保護者へ配布と共に、緊急性・切迫性・非代替性についての説明も行っております。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。